

大日本帝國政府

極秘

一 根本方針

現内閣ニ於テ決定シタル基本國策實現ノ爲眞ニ緊急己ムヲ得ザル財

記

本年七月二十六日閣議決定ニ係ル基本國策要綱ノ定ムル所ニ依リ爾是
 遂行ニ必要ナル國防國家體制ノ確立ヲ期センガ爲ニハ國防上及外交上
 ニ於テハ勿論政治、經濟、教育其ノ他庶政百般ニ互リ萬難ヲ排シテ舊
 般ヲ脱シ速カニ新體制ノ實現ヲ圖ルノ要アルニ依リ是等ノ施策整備ニ
 必要ナル財政政策ハ中央ニ於テハ勿論地方ニ於テモ概ネ左記各項ニ準
 據スルコトトシ軍官民共卒先當面ノ犧牲ヲ忍ビ綜合國力ノ發展ヲ目標
 トスル財政計畫ノ確立ニ寄與スルモノトス

新財政政策ノ樹立ニ關スル件

昭一五八一〇日

區分	臨時部	勅任	奏任	判任	合計
昭和	二二五七	六	二八	二九六三	一三八
昭和	二〇六七〇	四	一八九	二〇三三	一三三
八年度	二二一〇二	四	二〇三	二〇三三	一三三
九年度	二二四四七	四	二〇八	二〇三三	一三四
十年度	二二四四五	五	二二六	二〇三三	一三五
十一年度	二二四六四	五	二七八	二〇三三	一三九
十二年度	二二六六七	七	三四五	二〇三三	一五三
十三年度	二二〇三五	七	四二六	二〇三三	一五七
十四年度	二二六〇四	八	四八六	二〇三三	一六四
十五年度	二二六六〇	一〇	六六七	二〇三三	一七六

大日本帝國通則

辭

府内閣ニ付テ其旨ニ及ルル本國教育ノ發展ニ深遠巨ムテ其旨ヲ以テ
一 根本方針

イヌハ根柢性ノ確立ニ寄與スルモノイヌ
ニ付テハ其旨ニ及ルル本國教育ノ發展ニ深遠巨ムテ其旨ヲ以テ
一 根本方針
イヌハ根柢性ノ確立ニ寄與スルモノイヌ
ニ付テハ其旨ニ及ルル本國教育ノ發展ニ深遠巨ムテ其旨ヲ以テ
一 根本方針
イヌハ根柢性ノ確立ニ寄與スルモノイヌ
ニ付テハ其旨ニ及ルル本國教育ノ發展ニ深遠巨ムテ其旨ヲ以テ
一 根本方針

本學子員二十六日閣議決定ニ付テ其旨ニ及ルル本國教育ノ發展ニ深遠巨ムテ其旨ヲ以テ
一 根本方針

昭和十六年八月一日

大日本帝國政府

政需要ニ付テハ經濟政策ノ圓滑ナル遂行ヲ考慮シツツ積極的態度ヲ
以テ之ガ充足ニ努ムルコトトシ所要財源ノ調達ニ付テハ財政依存ノ
根源タル國民經濟ノ實相ヲ稽查シ其ノ遺漏ナキ動員活用ヲ期スルト
共ニ他面將來更ニ有事ノ際ニ慮スベキ基本國力ノ培養ヲモ等閑ニ附
セザル如ク工夫スルコト

三 財政需要ノ規制

- (1) 義ニ關議決定ニ係ル「昭和十六年度豫算編成ニ關スル件」ハ各省
共忠實ニ之ヲ恪守シ名實共ニ戰時豫算ノ體制ヲ確立スルコト
- (2) 經費ノ要求及使用ニ際シテハ重點主義、節用主義及効率主義ノ徹
底的勵行ヲ期シ政府支出ノ膨脹ヲ能フ限リ抑制スルコト
- (3) 物資動員計畫及勞務動員計畫ニ適合セル豫算ノ編成ニ資スル爲關

大日本帝國新聞

(1) 財政部は、最近の財政状況を調査し、その結果を報告した。...

大日本帝國政府

三 所要財源ノ調達
係部局間ニ於テ緊密ナル連絡ヲ遂ゲ最善ノ努力ヲ拂フコト

- (1) 歳入見積ノ適實ヲ期スルト共ニ新税制ノ弾力性ヲ活用シ増税其ノ他普通歳入増加ノ方途ヲ講ズルコト
(2) 公債財源ヘノ依存ノ程度ハ極力之ヲ最少限度ニ止ムルト共ニ資金統制計畫ニ即應セル公債發行計畫ノ樹立ニ努ムルコト
(3) 國防國家體制ノ觀點ヨリ既定經費ノ再檢討ヲ爲シ行政機構ノ廢合改組、官廳事務ノ停止縮減、既定事業ノ打切繰延等ヲ行ヒ餘裕財源ヲ捻出スルコト
四 財政計畫ノ確立
(1) 大藏省ハ平戰時ヲ通ズル財政計畫樹定ノ爲所要ノ研究調査ヲ行フ

大日本帝國通則

(2) 大蔵省ハ平準勅ヲ發シテ其旨ヲ各省ニ通知セシメ、各省ニ於テ是ノ旨ヲ遵テ、各省ノ財政計畫ヲ編シ、各省ノ財政計畫ヲ大蔵省ニ送付スルコト
(3) 各省ハ特ニ高度ノ「機密取扱」ト爲シ之ヲ政府部外ニ發表セザル
ハ勿論政府部内ニ於テモ能フ限リ小範圍ニ於テ之ヲ處理スルコト
(4) 各省ニ於テハ此ノ際速カニ別紙要綱ニ依リ昭和十六年度標準豫算
ノ改編計畫ヲ立案シ之ヲ財政計畫資料調査トシテ十月二十日限り
大蔵省ニ送付スルコト

大日本帝國政府

コト
(2) 各省ハ財政計畫立案ノ資料トシテ毎年度標準豫算ノ改編計畫ヲ擬
定シ大蔵省ノ定ムル所ニ依リ概算要求關係書類ト共ニ之ヲ大蔵省
ニ送付スルコト
(3) 本件ハ特ニ高度ノ「機密取扱」ト爲シ之ヲ政府部外ニ發表セザル
ハ勿論政府部内ニ於テモ能フ限リ小範圍ニ於テ之ヲ處理スルコト
(4) 各省ニ於テハ此ノ際速カニ別紙要綱ニ依リ昭和十六年度標準豫算
ノ改編計畫ヲ立案シ之ヲ財政計畫資料調査トシテ十月二十日限り
大蔵省ニ送付スルコト

大日本帝國國策

大國策ニ強クスルコト

ノ海國情勢ニ立脚シテ之ヲ強クシテ海軍擴張ヲ期スルコト
(1) 海軍ニ強クシテ之ヲ強クシテ海軍擴張ヲ期スルコト
ハ以テ海軍擴張ヲ期スルコト
(2) 本邦ノ海軍ニ強クシテ之ヲ強クシテ海軍擴張ヲ期スルコト
ニ強クシテ之ヲ強クシテ海軍擴張ヲ期スルコト
家ノ本國策ノ強クシテ之ヲ強クシテ海軍擴張ヲ期スルコト
(3) 本邦ノ海軍ニ強クシテ之ヲ強クシテ海軍擴張ヲ期スルコト
ニ強クシテ之ヲ強クシテ海軍擴張ヲ期スルコト

大日本帝國政府

其豫算ノ實行

政府ハ豫算ノ實行ヲシテ常ニ物價、物資、勞力、資金等諸般ノ經濟
事情ノ趨勢ニ即應セシメ財政ノ國民經濟ニ及ボス影響ヲ參照スルノ
要アルノミナラズ時ニ現下ノ時局ニ際シテハ戰時經濟ノ運営乃至戰
時國民生活ノ確保ニ支障ナカラシムルノ要アルヲ以テ昭和十六年度
豫算ノ實行ニ關シテハ豫メ適當ナル方策ヲ工夫シ概算閣議ノ際之ヲ
決定シ置クコト

大日本帝國通稱

昭和十六年度財政計畫資料調査要綱
一、本調査ハ昭和十六年度標準豫算ノ改編計畫ニシテ嚴正ナル戦時豫算
編成ノ資料タルベキモノナルコト
二、昭和十六年度標準豫算額ヨリ國債費、警察費連帶支辨金、小學校教
員俸給分擔金、國際分擔金、豫備費、年金及恩給並ニ諸支出金ヲ控
除シタル剩額ヲ以テ改編計畫樹立ノ對象トスルコト
三、改編計畫ハ各省別會計別ニ標準豫算總額ノ五分（甲案）、一割（乙
案）、二割（丙案）、三割（丁案）及五割（戊案）程度ニ相當スル
財源不要額ノ捻出ヲ目途トセル五案ヲ樹立スルコト
四、本件調査ハ別紙様式ニ依リ科目毎ニ其ノ改編要領ヲ備考欄又ハ科目
欄ノ記載方ニ依リ明瞭ナル如ク作製スルコト

大日本帝國政府

昭和十六年度財政計畫資料調査要綱
一、本調査ハ昭和十六年度標準豫算ノ改編計畫ニシテ嚴正ナル戦時豫算
編成ノ資料タルベキモノナルコト
二、昭和十六年度標準豫算額ヨリ國債費、警察費連帶支辨金、小學校教
員俸給分擔金、國際分擔金、豫備費、年金及恩給並ニ諸支出金ヲ控
除シタル剩額ヲ以テ改編計畫樹立ノ對象トスルコト
三、改編計畫ハ各省別會計別ニ標準豫算總額ノ五分（甲案）、一割（乙
案）、二割（丙案）、三割（丁案）及五割（戊案）程度ニ相當スル
財源不要額ノ捻出ヲ目途トセル五案ヲ樹立スルコト
四、本件調査ハ別紙様式ニ依リ科目毎ニ其ノ改編要領ヲ備考欄又ハ科目
欄ノ記載方ニ依リ明瞭ナル如ク作製スルコト

大日本帝國政府

五各省ハ甲案、乙案、丙案、丁案及戊案ノ五種類共必ズ立案スルコト

大日本帝國

一、本國空へ照臨十六半

二、照臨十六半

三、照臨十六半

四、照臨十六半

五、照臨十六半

六、照臨十六半

七、照臨十六半

八、照臨十六半

九、照臨十六半

十、照臨十六半

照臨十六半

大日本帝國政府

何省所管何々會計財政計畫資料圖書

科目	昭和十六年度標準豫算額	控除額	特別改編對象額	財源	不	要	額	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

備考
繰延ニ依ル財源不要額ハ内書トシテ※印ヲ附スルコト

大日本帝國如報

正務省ハ甲案、乙案、丙案、丁案及戊案、正務廳共ニ立案スルコト
 一、本國及海外ノ各官署ノ事務ノ進捗ニ關スル事
 二、各省ノ業務ノ進捗ニ關スル事
 三、各省ノ行政ノ進捗ニ關スル事
 四、各省ノ財政ノ進捗ニ關スル事
 五、各省ノ教育ノ進捗ニ關スル事
 六、各省ノ社會福利ノ進捗ニ關スル事
 七、各省ノ交通ノ進捗ニ關スル事
 八、各省ノ衛生ノ進捗ニ關スル事
 九、各省ノ警備ノ進捗ニ關スル事
 十、各省ノ其他ノ重要事項ニ關スル事